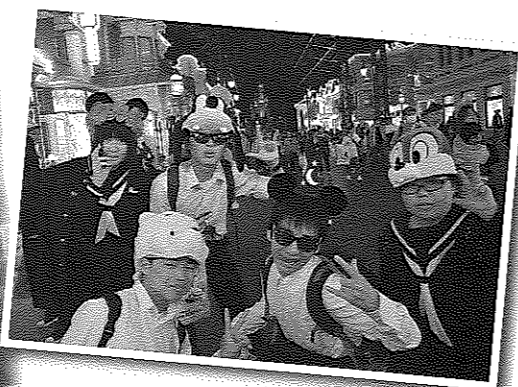




『修学旅行を振り返って』

佐藤 暖

修学旅行を終えて、特に印象に残っているのは自主研修です。私は前から興味があった東証アローズに行きました。普段入れない場所を見学したり、株取引について詳しく学び、知ることが出来ました。貴重な体験になりました。自主研修では主に地下鉄を利用し、東京の人の多さにも驚かされました。これらの貴重な体験を、これからは生かしていけたらと思います。



修学旅行を終えて

実行委員長 熊谷 京香

私達は今回の修学旅行で、日本の中心地東京の空気を肌で感じ、学習面だけでなく、友達との協力、団結力など多くのことを学ぶことができました。また、様々な国の人々が行き交い、ビル群が立ち並ぶ東京は、何もかもが新鮮に感じ、大きな刺激を受けました。この3日間での経験は、私達の人生において大きなプラスになったと思います。この経験を今後の学校行事や進路選択、そして将来に生かしていきたいと思っています。

1 学年学年行事 9月13日

- ・給食試食会
- ・認知症サポート研修

認知症サポートから学んだこと

1年1組 佐藤 美幸

9月13日金曜日の5、6時間目に行われた親子行事で、私は介護劇の生徒Aを演じました。この行事でいろいろ知ることができてとても良かったと思いました。そして私は、身近に認知症になっている人がいたら、優しく接して、少しでも落ちついて暮せるように声をかけてあげたいと思います。

『介護劇をやってみて』

1年2組 斎藤 陽那

私は認知症の人と接したことがなかったので、学年行事で認知症の方の接し方について学びました。認知症の人は同じことを何度も聞いたり、ご飯を食べたことを忘れていたりしていました。そこで認知症の方でも相手に興味を持つような答えやすい話し方や優しく接してあげることで、会話が出来る「思いやり」を学びました。



1 学年行事を終えて

1 学年委員長 佐藤 由香

去る9月13日に開催された1学年学年行事では、始めに給食試食会を行い、その後に認知症サポーター研修を受講しました。

研修では講師の遠藤様から、「認知症とは一旦発達した脳が加齢など様々な原因で萎縮し記憶力・判断力の低下になることである。その症状は生活環境や家族の対応により良くも悪くもなる」との話がありました。誰にでも発症する可能性があり、人間の脳細胞は毎日10万億個以上が死滅するという話を聞いた時には「ぞっと」しました。生徒や先生方、親とで行った日常の様子を再現した劇からも、認知症を理解した対応と理解のない対応ではかなり違うという事を、皆様の名演技で確認する事ができました。最後に高齢者体験を行い、高齢者の体の特徴を身をもって体験するなど貴重な時間を過ごすことができました。

親子の触れ合いの時間もより良かったと思います。



2 学年学年行事 7月12日

- ・給食試食会
- ・親子でリラックスストレッチ

学年行事を通して

2年 千葉 愛恵

今年の学年行事では、ストレッチを行いました。いつもつかわれていない筋肉をのばすことができ、よかったです。また、学年や親子の絆を深めることができました。2学年では「協力」をテーマとして頑張っています。この学年行事を通して2学年をさらに活発にし、成長していきたいです。

学年行事に参加して

2年 森 達貴

私は7月12日に行われた学年行事に参加しました。内容は、親子でストレッチなどをしました。昨年と違って体を動かす行事だったので、とても興味深く取り組むことができました。また、当日には、親子給食という事で、コモンホールで給食試食もしました。いつもと違う場所で、親子で給食を食べて、とても有意義に過ごしました。

学年PTA行事について

2 学年委員長 三浦 玲子

第2学年では、講師に鈴木あい子先生を迎え「親子でリラックスストレッチ」を行いました。生徒と保護者で和気あいあいとした雰囲気の中、体を少しずつほぐしていき、終了時には始める前と比べ、体の柔軟性の違いを親子で実感し、心身共にリラックスできました。

ご協力、ご参加いただいた先生方、保護者の皆さん、ありがとうございました。

